

## ユネスコセミナー

日 時 2008年2月3日(日)  
10:40~11:50  
場 所 白石中央公民館  
参加者 約45名

白石ユネスコ協会の新春セミナー＆パーティーを2月3日に開催しました。

ESD(「持続可能な開発のための教育の10年」)については、ユネスコは主導機関であるにもかかわらず、一般のユネスコ会員はそのことについては詳しくは分からない...というのが現実です。

それらのことも踏まえ、白石ユネスコ協会ではESDについて理解したい!勉強したい!という思いからセミナーの部分で「ESD・持続可能な未来に向けた白石ユネスコ協会の役割」と題して仙台広域圏ESD・RCE運営委員会委員長の小金澤先生にご講演を頂きました。

今回のセミナーには、ユネスコ会員だけではなく一般からも参加者を募り、会場となった部屋はほぼ満席となりました。

講演では、

- 1、国連の「持続可能な開発のための教育の10年」キャンペーンとは何か?
- 2、仙台・宮城でどのように持続可能な社会づくりに取り組んでいるのか?
- 3、地域から持続可能な取り組みをどう創るのでしょうか?
- 4、地域の実践を世界に発信しよう。

という内容に分けてお話をいただきました。

宮城県内で実際に行われている事例などでは、小学校での取り組みや環境の体験実習、PTAとNPOの連携などが紹介され、また学生と地域の方々と一緒にその地域の生態系の調査や、それにかかわる体験の話など興味深いものが多かったため、参加者にはとても分かりやすかったようでした。

講演後には、事例をもとに、「白石での小学校との連携をはかるにはどういった順番で関わっていけば良いのか?」とか、「どうしてもESD=環境というイメージがあるけれども、国際理解とのかかわり方をどう持って行ったら良いか?」などの質問もあり、1時間という短い時間ながら、とても中味の濃い時間となりました。

参加者からは「続きをしたい」とか「もっとお話を聞きたい」という声があった一方で、10月に開催された「第4回 仙台広域圏ESD・RCE 拡大学びあい会議」に参加され、今回も参加された方々からは「2回お話を聞くことでやっと理解できたような気がします。身近なところで視点を変えるとESDなんですね」とおっしゃっていた方もおりました。

報告者：白石ユネスコ協会：柴谷 亜美

